

長野陸協主催競技会審判マニュアル

(県松本平広域公園陸上競技場対応版)

(新型コロナウイルス感染防止対策)

NAA

Nagano Athletics Association

2020年8月29日(第1版)

(一財) 長野陸上競技協会

競技運営委員会・監修

長野陸協主催大会審判マニュアル（松本会場版）

（新型コロナウイルス感染拡大防止対策）

【はじめに】

長野陸協主催大会は、日本陸連が示す、「陸上競技活動再開のガイダンス」最新版を元に競技会を運営します。

長野陸協主催大会では、「三つの密」を徹底的に回避するための対策をとることで、参加する選手・チーム関係者とその家族、競技役員とその家族への感染防止を防ぎ、安心・安全な競技会運営を目指します。

政府が示す「新しい生活様式」と同様に、審判の方法も今後変わって行くと考えます。大会で皆様をお願いする各部署での対応について、実践する中で問題点を洗い出していただき、「新しい審判様式_長野モデル」を構築したいと思えます。全てが初めてのことで、多々戸惑うこともあるかと思いますが、まずは実践し、改善し新型コロナウイルスに負けない競技会づくりにご尽力をお願いします。

尚、このマニュアルは新型コロナウイルスの感染状況に対応して、改編していきます。

【共通事項】

役員の建物内への出入口は、正面玄関1箇所とします。

アルコール除菌液等で手指の消毒を徹底してください。

※動線を1箇所にするこによる感染防止の徹底

1. 競技会中のマスク着用は必須とします。

但し、高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクをはずしてもかまいません。マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給を心がけてください。（選手と接する場合は必ず着用してください。）

また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的にはずして休憩することも必要です。

2. エアコンの使用について

本年から、県松本平広域公園陸上競技場役員室・トレーナー室にエアコンが新設されました。（情報処理室・食堂は従来から設置）熱中症予防のためにはエアコンの活用が有効です。ただし、新型コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。使用中も競技場側ガラス戸及び通路側ドアを開けて使用してください。（事務局で管理します。）

3. 日本陸連の「陸上競技活動再開についてのガイダンス（第2版改訂・2020/8/11）」の内容を熟知して審判に臨んでください。ガイダンスは大会プログラムに掲載しています。

4. その他、注意すべきことはガイダンスの内容を確認してください。

5. 役員控室では、ソーシャルディスタンスを確保することに努めてください。（役員室、食堂等に分散して待機・休憩 ※使用施設は、大会ごと指示します。）

6. 当面の間は、感染のリスクを考え、補助員なしで、運営します。

7. 審判業務中の選手への応援・指導は絶対にしないでください。

8. マスク、消毒・感染対策用備品（アルコール除菌液、ふきん、フェイスガード 等）は全

て庶務で管理しますので、必要数を主任が受取に行ってください。（マスクは有料@100 円）
再利用可能な物品は必ず返却してください。その際に必ず消毒を実施すること。（返却必要な物品かは、庶務系の指示に従ってください。）

【MEMO】

競技会の運営（各部署コロナ感染防止対策事項）

【本部役員・TIC】

本部役員（総務、総務員、庶務・役員係）TICは協力して感染防止対策に取り組む。

1. 1～2時間に1度競技場の下記施設の消毒（拭き取り）を手分けして実施する。
 - ・正面玄関ドア ・役員受付前ドア ・役員控室のドア ・選手更衣室の出入口ドア
 - ・TICの諸設備（机、アクリル防御版 等） 他頻繁に手指が接触する場所。
2. 常時、関係者の出入りでの手指の消毒を促す。
3. プログラム販売等金銭の授受をする場合は、手袋を着用する。金銭の授受では手渡しはせず、釣銭トレーにのせて受け渡しを実施する。
4. 選手受付では以下を実施する。
 - 受付時に、「【大会前：提出用】体調管理表・症状チェック表（2020年8月11日）」の提出を確認する。チェック表は、選手・チーム関係者（応援の保護者）全てから提出していただく。提出数（選手を除く）分「入場許可証（リストバンド）」を発行する。
 - 選手以外のチェック表提出者には、手首に「入場許可証（リストバンド）」を巻いていただく。リスト番号には、通し番号が記載してあるので、「体調管理表・症状チェック表」に通し番号を記入すること。
5. 入場許可の無いもの、チームに関係しない一般の観客の入場はさせないでください。
6. 消毒・感染予防備品の管理（貸出、返却、廃棄、再利用物品の消毒 等）
7. その他
 - 大会で発生するごみ（記録情報等から発生するスタートリスト、リザルト等の用紙以外）は、各自持ち帰って頂くよう呼びかけてください。
 - 競技役員以外が、正面玄関から出入りしないようコントロールしてください。
 - ※選手は更衣室外トビラから雨天走路までの範囲に入場可
9. 長野陸協物品販売、等、上記以外の庶務をお願いします。

【マーシャル】

1. 競技中・フィニッシュ後に倒れ込んだ競技者のケア：防護体制（マスク、フェイスシールド、ゴーグル、使い捨て手袋など）を整えたスタッフで対応する。ゴーグル（サングラス）はその都度、アルコール消毒をする。
2. コーチがコーチ席から競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保し、話すように呼び掛ける。
3. 入場許可リボンをしていない観戦者を見かけた場合は総務に連絡する。
4. 競技場所に移動する選手の誘導をする。（トラックを横切るときの安全確保）

【アナウンサー・スクリーン】

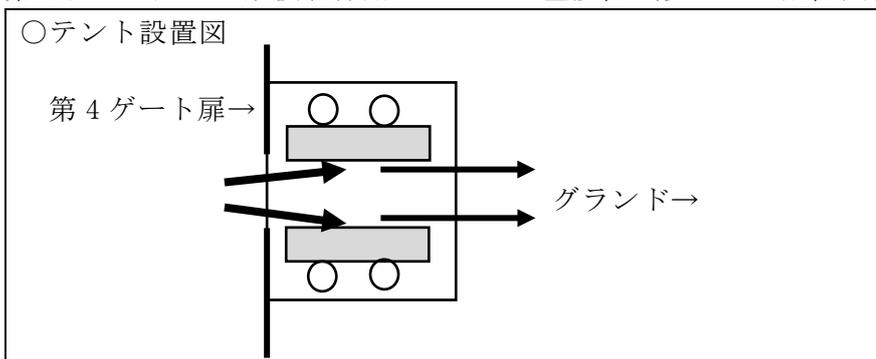
1. 滞在時間の短縮のため、競技開始直前の競技者紹介は簡略化する。（選手の欠場情報のみ。注目選手紹介程度は可） 競技前の準備の時間（スタプロ合わせ等）を活用して事前に競技者の紹介を済ませるなど、競技者がその場に長く留まらないような工夫をする。
2. 以下の項目を随時アナウンスし、注意喚起をする。
 - ① ウォーミングアップは個別に行う。その種目の選手以外はウォームアップ場への立ち入り禁止。指導者についてと、雨天走路使用についてもアナウンス願います。注意事項のとおり。

ウォームアップ場の入り口は、空港側の1ヵ所とすること。

- ② 招集の手順についての連絡
 - ③ 競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。
 - ④ 更衣室の滞在は短時間にする。(シャワールームの使用を禁止とする)
 - ⑤ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
 - ⑥ 選手がフィニッシュ後、競技場内でのクーリングダウンは行わず(特に長距離種目について)、直ちに手洗い場所へ向かうこと。
 - ⑦ 体液の付着したゴミは自己責任で処理する。(基本的に持ち帰り)
 - ⑧ チーム及び関係者の待機場所の指示及びソーシャルディスタンスの指示
 - ⑨ 応援についての注意喚起
 - ⑩ 貴重品の管理の注意喚起
3. 記録発表は掲示しないので、その点を配慮した結果発表をする。
※1種目終了ごとに「長野陸協 DataWeb」の「競技会結果」ページにPDFで更新されたデータが掲載されるので、このこともアナウンスする。
 4. その他、プログラム掲載の注意喚起事項を随時流す。

【用器具係】

1. テント設営
 - ① 投てき、通常どおり設置
 - ② 第4ゲート入口に競技者係用のテント一基設置(次ページ配置図参照)



- ③ 給水
男子 5000mは通常どおり給水(紙コップで構わない。ただし使いまわしはしない)を設置。スポンジは置かない。
給水の競技役員は競技開始前に手指を消毒し、マスク、手袋、フェイスシールド等を着用する。
 - ④ 配置人数が少ないので、ハードルやマットの設置は手の空いた審判に手伝いを頼んでください。
2. 用器具は使用前、使用後に消毒液で拭き取る。(審判員全員でおこなう)
 3. 競技終了後のすべての競技用機材(スターティングブロック・投てき物・バトンなど)を消毒する。(審判員全員でおこなう)

【ウォームアップ場係】

1. ウォームアップの準備(スタブロ、ハードル、砂場、高跳びマット、投てきゲージなど。)投てき練習は、大会ごと競技注意事項に記載するので確認すること。また、大会によって

は、本競技場で投てき練習を行わせる場合もあるので、確認すること。（準備は、審判員全員でおこなうか担当を決める）

- ウォームアップ場への出入りは、メインスタンド側 100m スタート側のゲートを 1 スパンのみとし、出入りを 1 箇所制限する。（開錠は大会本部で行う。）
- 補助競技場出入口には、アルコール消毒液を設置するので、入退場の際には手指の消毒を必ず実施するよう促す。
- 選手以外の者の立入はできないことを周知してください。（監督・コーチも不可）
- 投てきの練習には、審判員が必ず 1 名以上配置する。（監督、コーチが入れないため）
- 手洗い場所にはハンドソープを設置してありますので、練習終了後は手洗いを実施するよう指導する。
- ソーシャルディスタンスの確保を徹底してください。拡声器を用意し、注意喚起を行ってください。
- 1 名は「雨天走路」で同様の業務を行う。（雨天走路の出入りは更衣室外扉から）
- 雨天走路から、競技場内へ入らないよう指導する。
- 雨天走路を待機場所として使用する選手には移動していただく。（スタンド又はコンコース等へ）
- トレーニングルームは使用禁止（施錠しておきます。）
- 雨天走路の競技場側ガラス戸は一定間隔で解放して通気を確保する。
※審判員数の関係で、雨天走路に練習場係が配置できない場合は、総務で対応する。

【競技者係】

- 昨年までの選手招集は行いません。
- 第 4 ゲート（雨天時には B 倉庫）から、プログラム記載の会場入場時間に選手を会場に誘導します。
- 誘導（入場者予定数）は、競技日程記載の会場入場時間ごと参加人数を確認すること。
- 第 4 ゲート入口に設置したテント内で、ナンバーカード・スパイクピン・商標のチェックを行う。（選手と役員の間はビニールシートで遮断します。）
- チェックを行う際には選手と接触しないよう工夫してください。
- 選手は、フィニッシュ後、競技場内でのクーリングダウンは行わず、直ちに退場することを伝えてください。（特に長距離種目について）
- 腰ナンバー標識・長距離の旨レーン番号標識が必要な種目では、選手入場の歳に配付する。（どちらも回収しない。）
- 招集完了時間にトラックはスタート地点、フィールドは試技場所で、最終点呼を行うが、トラックは出発係、フィールドは跳躍審判員、投てき審判員がおこなう。

【出発係】

- 招集完了時間に通常どおりに選手の最終確認（プログラムで確認）を実施する。
- アナウンサーとスターターに連絡する。
- 待機場所ではソーシャルディスタンスを確保するよう待機させる。
- トラック競技では、選手に準備したビニール袋を配付し、荷物を収納させる。
- トラック種目では、選手の荷物をフィニッシュ地点まで移動する。（カート使用）
- 走り終わった選手が、フィニッシュ後、競技場内でのクーリングダウンは行わず（特に長距離種目について）、速やかに手洗い場所へ誘導し、手洗いを実施させ、第 1 ゲートから退場

するよう誘導する。

7. 手洗い場所等フィニッシュ後に長時間選手が留まらないよう誘導する。

【スターター】

1. 長時間スタート位置に選手が留まらないよう配慮する。(特に直線種目)

【監察員】

1. ハードルや障害の設置の協力をする。
2. 入場選手の誘導が危なくないように誘導する。

【フィールド審判 跳躍審判・投てき審判】

1. 用器具と協力して、会場準備をおこなう。
2. 招集完了時間に通常どおりに選手の最終確認(プログラムで確認)を実施する。
3. アナウンサーに連絡する。
4. 待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保し、競技役員は注意を促す。
5. 投てき器具を共用禁止にする必要はない。終了後の手洗い・洗顔の徹底を呼び掛ける。
6. 滑り止め(炭酸マグネシウム)利用については、共有しない方法で実施する。競技者が容器に手を入れて着ける形ではなく競技役員から適量を受け取る方法や小分けして競技者に渡す。競技者の持ち込みも可とする。
7. 助走練習、投てき練習時に並ぶ時はソーシャルディスタンスを確保するか、あるいは競技役員が1人ずつ順番に呼び出す。
8. 競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するよう呼びかける。
9. 競技役員・補助役員の手旗、パソコン、計測器などの共用は極力避けるが、共用する場合には、使用後、手洗い、手指の消毒、機器の消毒を行う。
10. コーチがコーチ席から競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保し、話すように呼び掛ける。
11. 走幅跳、三段跳は、粘土板を使用する。
12. 競技中退場する選手は、手洗い場所へ誘導する。

【風力計測員】

1. トラックの風力は写真判定員でおこなうので、フィールド種目の風力を測る。

【写真判定員・情報処理員・ビデオ観察員】

1. 競技終了後、すべてのPC機材を消毒する。

【その他：全体として】

1. 審判業務中の競技役員の話、競技者へのアドバイス・声援など、競技者や観客から疑義を抱かれる言動は絶対に行わないようにお願いします。

「自分を大切に、周りを思いやり、共に前へ進もう」